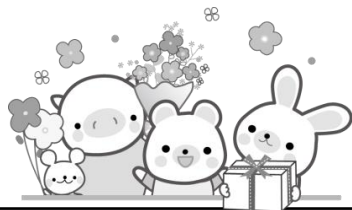


40年会員の皆さまからのメッセージです。



(順不同・敬称略)

持田 隆彦 (京都支部)

創立40周年おめでとうございます。当時一緒に青森集会に参加した多くの仲間の中で、なんとか40年を生きてきました。共に活動してきた仲間たちも、既に鬼籍に入った人、途中やむなく一線を離れた人たちの努力が今日の通研につながったことと思います。増々大きく発展されることを期待しております。福島は第1回全国手話通訳者会議に私たちはカンパを募り、代表を送ってから46年。当時の生き残りも少なくなりました。板橋さんによろしくお伝えください。出席できなくてごめんなさい。

小出 新一 (京都支部)

40年間無事で活動ができたことをうれしく思います。全通研で40年続けられたことを誇りに思っています。50年を目標に頑張ります。

小林 孝子 (福島支部)

昭和49年、市役所に設置通訳としてスタートを切ったその年の全国ろうあ者大会(青森)に参加して全通研発足のその場に居合わせたこと、仕事で行き詰まった時、夏集会で全国の頑張っている仲間に出会えるのが、私にとっての心の拠り所でした。その夏集会の最後の年に地元実行委員として携わることができて私の活動の締めくくりとなりました。ありがとうございます。

佐藤 けい子（福島支部）

創立 40 周年おめでとうございます。全通研発足の青森集会から節目の福島集会に参加できたことは本当にうれしいです。毎年夏の集会に参加して故伊東先生や故市川さんにお会いしてパワーや刺激をいただき地域で活動ができたと思います。地元にも板橋正邦氏がおり、ろう運動や通訳活動の中でたくさんの人と知り合えたことが一番です。

青柳 美子（静岡支部）

全通研が創立 40 周年を迎えられたことを、喜びと共にお祝いを申し上げます。このような節目の式典において表彰していただけることに、深く感激しております。昨年暮れから今年にかけて大病を患い今ひとたび生を受けたことと合わせて考えますとこの表彰も先に逝かれた諸先輩たちからの「もう少し頑張りなさい！」という叱咤のようにも思えます。これからも多くの仲間たちと手をたずさえて、微力ながらがんばっていきます。

覚本 直人（静岡支部）

創立 40 周年、とても嬉しいです。そして誇りに思います。全通研設立当初からの柱である「聴覚障害の生活から学ぶ」活動と「聴覚障害者の生活支援」を、多くの先輩の想いを大切にしながら、仲間と共に地域での活動を積み重ねて行きたいと思います。全通研の益々の発展を願いつつ。

笠原 けい子（静岡支部）

祝・全通研創立 40 周年。ただ 40 年間会費を納め続けてきただけなのに表彰してくださるなんて・・・というのが正直な気持ちです。でも素直に感謝します。これからも地域において次代を背負っていく会員の後を足蹴にされないよう踏ん張って行きたいと思っています。

高橋 節（静岡支部）

全通研創立 40 周年おめでとうございます。40 年といえば、私が生きてきた年数の半分に当たります。全通研との出会いは私の生き方に少なからぬ影響を与え、すでに旅立たれた諸先輩を思い起こしています。集団の知恵で更なる進化を！

